

認知症に関する困りごととは ご相談ください

認知症初期集中支援チームがサポートします

認知症初期集中支援チームとは、認知症専門医と専門知識を持つ保健師、社会福祉士、作業療法士等で構成するチームです。

チームでは、ご本人やご家族、民生委員、ケアマネジャーなどから相談を受け、家庭訪問を行い、その結果に基づき、病院受診や介護サービスの利用など、ご家族を含めた支援の方向性を検討し、初期支援(おおむね6ヵ月)を行います。

【対象者】

40歳以上の方で、自宅で生活しており、認知症の症状などでお困りの方
例えば：

- ・ 認知症の診断を受けたいが、本人が受診を拒否している
- ・ 介護サービスを利用したいけどできない
- ・ 認知症の症状が強くて、対応に困っている
- ・ 認知症の治療を中断している

【ご利用のながれ】

1. まずは左記の地域包括支援センターにご相談ください。
2. 認知症初期集中支援チームによりサポートします。
3. 家庭訪問

・ 必要に応じて、専門医療機関の受診の促しや調整
・ 必要な医療や介護サービスの検討(認知症の症状に沿ったアドバイス)
・ 介護・医療・福祉等関係する機関に引き継ぎを行います。

【問い合わせ・相談先】

- ・ 保健福祉課包括支援係
(シルバープラザ内)
☎0137-65-5001
- ・ 熊石総合支所住民サービス課
☎01398-2-2365



協力隊 奮闘日記

協力隊と町民の情報交換



現在協力隊はLoughmo(ら・ふも)運営のほか、さまざまな事業の取り組みを開始しております。

それは、協力隊創設時から中心とした産業人材の確保・育成対策と中心市街地の賑わい創出事業です。

産業人材の確保・育成対策については、昨年度、協力隊は産業人材の確保・育成の仕組みづくりのために、協力隊自らが実際にさまざまな産業体験を実施し、その体験により得た、課題、それぞれの産業の魅力等を整理し、それを活かした産業人材の確保・育成に向けた仕組みづくりのための検討を進めています。今年度は、人材確保に向けた第一歩として、八雲町の求人情報の発信に向けた取り組みを進めていきます。

昨年、Loughmo(ら・ふも)をオープンし、イベントなど多く開催し、多くの人に来場していただきました。今年度は、イベント企画、開催

は継続して行い、地場素材の規格外品の販売や提供、特産品のPR活動を中心に進めていく予定です。

産業人材の確保や店舗運営の2つを協力隊で事業分担し、町民の皆さまと連携しながら活動していきたいと思えます。

また、コミュニティカーフェLoughmo(ら・ふも)も変わらず営業しています。八雲町のイベント情報、協力隊の活動情報は各SNS等で配信していきますので、確認をお願いいたします。

- リアルタイムの情報は、
- Facebook: Twitter, Instagram, アメーバブログ、Line@の発信 かつま@.
 - Facebook: @cok.yakumo
 - Twitter: @yakumo_kyoryoku
 - Instagram: yakumochi_kyoryokutai
 - Line@: @ufe0356s
 - アメーバブログ: https://ameblo.jp/yakumochi-kyoryokutai/
- 【問い合わせ】
Loughmo(ら・ふも)
☎0137-65-5234

「おもいやり カフェ」を 開店します



もの忘れや障がいのある、年齢・性別を問わず、どなたでも来店できる地域のカフェです。お友達同士はもちろん、介護や子育てをしている方同士で交流する場としてもご利用いただけます。お子さまやお孫さんと一緒に、お気軽にお立ち寄りください。

【場所】

はびあ八雲 1階研修室

【時間】

午後1時30分～3時

【日程】

- 「6月」6月13日(水)
- 「7月」7月11日(水)

※毎月第2水曜日(祝祭日・会場使用不可の際は第1水曜日)

【内容】

ミニレクリエーション、交流茶話会、手芸作品などの展示

【問い合わせ先】

- 保健福祉課包括支援係
(シルバープラザ内)
☎0137-65-5001